

報道関係各位

ノバルティス ファーマ株式会社

**再発・転移乳がん患者さんを支える方々向け小冊子を作成、  
ウェブサイトに掲載****「Breastcare support Note 乳がんが転移・再発したとき～  
転移性乳がん患者さんを支える人のための手引き」**

ノバルティス ファーマ株式会社（代表取締役社長：ダーク・コッシャ）は、このたび、乳がんの再発や転移の診断を受けた患者さんを周囲で支える方々向けの小冊子「Breastcare support Note 乳がんが転移・再発したとき～転移性乳がん患者さんを支える人のための手引き」を新たに制作しました。この冊子は、昨年制作した、転移・再発乳がん患者さんのための冊子「breastcare note」の姉妹版であり、当社の「がん領域への取り組み」のウェブサイト（<http://www.novartisoncology.jp/>）内の「こころやコミュニケーションのサポート」ページ（<http://www.novartisoncology.jp/patients/support/>）から電子ブックで閲覧できるほか、PDFをダウンロードしてご覧いただけます。

ご家族や友人など大切な方ががんが転移・再発したと知った時、周囲の方々もショックを受け、何かしたくてもどのように手伝ってあげることができるのか、どう言葉をかければいいのかなどと、とまどうことも多いでしょう。この冊子では、患者さんのご家族など周囲の方々を対象に、大切な方ががんの転移・再発をどう受け止め、どのようなサポートができるか、また周囲で支える方々ご自身のこころの持ち方のヒントなどを、再発・転移患者さんのアンケート結果<sup>1</sup>とともにご紹介しています。

「Breastcare support Note」は、前作同様、聖マリアンナ医科大学乳腺・内分泌外科の津川浩一郎先生監修のもと、がん体験者によるがん体験者のための事業を行っているキャンサー・ソリューションズ株式会社が制作しました。

ノバルティス ファーマは、この冊子が、患者さんご自身向けの冊子「breastcare note」と合わせて、再発・転移と向き合っている患者さんと、患者さんを支える方々にとっての手助けになることを願っています。

1. 「転移性乳がん患者実態調査」より（ノバルティス ファーマ株式会社 2014年6月実査）

**ノバルティス ファーマ株式会社について**

ノバルティス ファーマ株式会社は、スイス・バーゼル市に本拠を置くヘルスケアにおける世界的リーダー、ノバルティスの医薬品部門の日本法人です。ノバルティス グループ全体の2013年の売上高は579億米ドル、研究開発費は99億米ドル（減損・償却費用を除くと96億米ドル）でした。ノバルティスは、約133,000人の社員を擁しており、世界150カ国以上で製品が販売されています。詳細はホームページをご覧ください。<http://www.novartis.co.jp/>  
以上

**◇お問い合わせ先**

ノバルティス ファーマ株式会社 広報統括部 宮川 真理  
TEL 03-3797-5098 FAX 03-3797-4367  
E-mail [japan.novartiscommunications@novartis.com](mailto:japan.novartiscommunications@novartis.com)

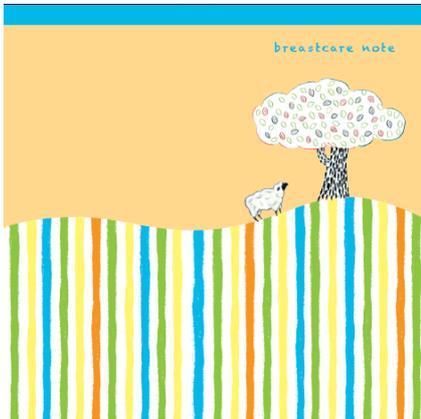
## がん患者さんのところやコミュニケーションのサポートについて

ノバルティス ファーマでは、がん患者さんの生活やところ、コミュニケーションなどをサポートするための冊子や動画、情報をウェブサイト上で提供しています。

<http://www.novartis oncology.jp/patients/index.html>

冊子について (<http://www.novartis oncology.jp/patients/support/>)

表紙



患者さん向け  
(breastcare note)

表紙



患者さんを周囲で支える方々向け  
(breastcare support note)

## Breastcare support noteの目次（中面）

| breastcare support note   |  |
|---|--|
|  | <b>乳がんが転移・再発したとき</b><br>転移性乳がん患者さんを支える人のための手引き |
| どうしたら受けとめられるのか、とまどうばかり…。  | 4  |
| <small>まずは病状を正しく理解しましょう／患者さんのショックに目を向けて</small>                                     |  |
| これからの治療方針を話しあっていくうちに、少し冷静になれた気がした。  | 6  |
| <small>ありのままを冷静に受けとめましょう／再発・転移の治療方法の考え方</small>                                     |  |
| 「病気だからって受け身のままでいたくない」って言う彼女を応援したい。  | 8  |
| <small>納得や理解のためにセカンドオピニオンも／臨床試験の可能性も考えてみましょう</small>                                |  |
| 「緩和ケア」って言葉、少し誤解していたかも…。   | 10   |
| <small>緩和ケアは「自分らしく」過ごすための治療／はやめに考えておくことが大切な ACP</small>                             |  |
| 何かしてあげたい、でも、どんなことができるだろう。   | 12   |
| <small>治療の副作用はメンタル面にも影響します／患者さんの思いに寄り添うことが大切</small>                                |  |
| いろいろ相談してほしいのに、何も言ってくれない。信頼されていないのかな…？   | 14   |
| <small>思いを伝えるのは難しいもの／医療者との横渡し役にも</small>  |  |
| 応援したい、励ましたい。言葉で伝えたいときもある。   | 16   |
| <small>言われてうれしかったこと／言われてイヤだったこと</small>   |  |
| 「頑張ってる」つもりだったけど、「ただ我慢してる」だけだったと気がついた。   | 18   |
| <small>ときには休憩をとることも大切です／患者さんを支えるあなたも1人ではありません</small>                               |  |
| 「助けて」って声に出してみたら、すごく気持ちが楽になった。   | 20   |
| <small>専門家や「仲間たち」にアドバイスを求めましょう／さまざまな制度を活用しましょう</small>                              |  |
| これからも、あなたと一緒にやりたいことはたくさんある。   | 22   |
| <small>“いま”を考えて“いま”を大切に／情報サイト</small>   |  |

※この冊子は、ノバルティス ファーマ株式会社 が2014年6月に実査した「転移性乳がん患者 実証調査」に基づき作成しました。